

まえがき

海外の橋梁架設技術に関する文献調査を実施中ですが、その中の一つにIrelandのLondonderryに架る三径間連続箱桁橋(Foyle Bridge)がある。この橋梁ではバージ上に搭載して、海上輸送した側径間大ブロックを陸上に縦送りした後、リフトアップして架設する工法を採用している。日本においては、バージ上の1000ton 以上の大ブロックを陸上に送り込んだ実績は報告されていない。

そこで、以下に示す文献を精読し、プロジェクトの進め方や、採用されている技術内容更には我国と技術上の考え方の違いなどの把握を目指し、全訳を実施した。

ここにその成果を報告する。

1) Proc. Instn Civ. Engrs, Part1, 1984, 76, May 363-386

PAPER 8793

Foyle Bridge: design and tender in a design and build competition

B. P. WEX, OBE, FCGI, FEng, BSc, FICE, FIHT, MConsE

N. M. GILLESPIE, BSc, MICE, FIHT

J. KINSELLA, MSc, BE, FICE

2) Proc. Instn Civ. Engrs, Part1, 1984, 76, May, 411-448

PAPER 8795

Foyle Bridge: fabrication and construction of the main spans

I. E. HUNTER, MA(Cantab), MICE, MIHT, MBIM

M. E. McKEOWN